



香川県立保健医療 大学卒業式・修了式



卒業・修了
おめでとう!



不安と期待を胸に本学に入学し、過ごした4年間を振り返ると、実習や課題などで苦しい時期がありました。しかしながら、そのような日々を乗り越える事ができたのは友人の助けや先生方のご尽力があったおかげだと感じています。

これからは、社会人としての自覚を持ち、初心を忘れず医療従事者として活躍していきたいと思えます。

卒業後の私たちの進む道は異なりますが、本学で学んだ事を忘れずに、みんなが充実した毎を送れることを祈っています。

臨床検査学科4年 山本 修平



新しく始まる大学生活への期待と不安が入り交じる中、入学式を迎えたあの頃から早4年。ここまで頑張ってきたのは、苦楽を共にできる仲間や先生方、温かく見守ってくれた家族などの支えがあったからだと思います。

実習で出会った患者様からの励ましの言葉や、看護を通して得た達成感ややりがいを忘れず、今後も切磋琢磨していきます。

卒業後の進路はそれぞれ異なりますが、仲間が各々の場で頑張っていることを励みに頑張りたいと思えます。

看護学科4年 佐伯 安里奈

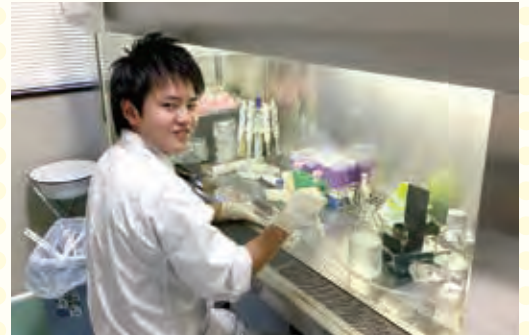


大学院紹介

臨床検査学分野

大学院臨床検査学分野2年 林 恵輔

大学院の講義は討論や発表形式の講義が中心で、様々な職種の方と一緒に講義を受ける中で、いろんな考え方に触れることができ、自身の視野が広がりました。また研究や学会発表を通して、高度な知識・技術だけでなく問題解決能力やコミュニケーション能力といったチーム医療の中で必要な能力も培うことが出来たと思います。



看護学分野

大学院看護学分野2年 藤岡 神奈

大学院には看護師、保健師、臨床検査技師が2学年17人在籍しています。

私自身は本学を卒業した保健師です。私にとって大学院は、大学の頃より主体的に学べ、日々の保健師活動の中で感じた疑問ややりたいことを、適切に御指導下さる先生方や他分野の大学院の仲間達と深く追求していける場になっています。



お知らせ

平成28年12月28日付けで、本学大学院保健医療学研究科臨床検査学専攻・博士後期課程の設置申請が文部科学省により認可されました。それに伴い、平成29年4月から、本学大学院保健医療学研究科は看護学専攻(修士課程)と臨床検査学専攻(博士前期課程・博士後期課程)に改組します。

教育講演会

教育講演会

平成28年10月20日(木)

看護学科2年 中嶋 るか

教育講演会・卒業生交流会のテーマは「看護の価値・素晴らしさ」でした。専門看護師、認定看護師、保健師、助産師の先輩方からお話を聞きました。先輩方からの話はイメージしやすく、進路に迷っていたり、将来への不安があった学生にとっては非常に勇気付けられるものがありました。次もぜひ参加してみたいと思いました。



橄欖祭(大学祭)

平成28年10月22日(土)

【橄欖祭実行委員長】 看護学科 2年 西村 建人

第17回橄欖祭のテーマは「躍」でした。このテーマには「1人1人が役割を果たし、活躍できる学祭にしていこう」という意味が込められていました。

大学祭に向けての準備の中では様々な困難がありましたが、各実行委員リーダーが責任を持って自分たちの仕事や周りのサポートも行えたため当日の大学祭を成功させることができました。橄欖祭に関わってくださった全ての方々に心よりお礼申し上げます。



国際交流 ベトナムビントゥアン医科大学校への派遣

看護学科 講師 竹内 千夏

ベトナムビントゥアン医科大学校(BTMC)に本学看護学科小林講師と竹内講師が2回目の訪問をしました

看護学科教員2名が平成27年から国際交流をしているBTMCに、平成28年9月5～8日の4日間に2回目の訪問をしました。

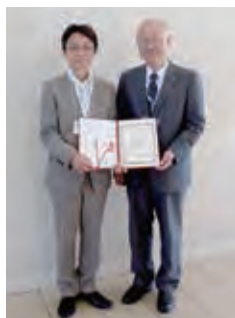
ベトナムでは急速な高齢化により高齢者看護の知識のある看護職の養成が急務です。そこで今回、BTMC教員に高齢者ケアに関する講義とケア技術指導を行いました。また、日本とベトナムの高齢者の健康に関する情報交換や省内の病院・施設の見学を通じ、日本の高度専門分化した医療専門職のチーム医療を再考するよい機会になりました。



去る11月22日に第2回公開講座が香川県社会福祉総合センターで開催されました。今回は、看護学科片山教授および平川副学長を講師としてお招きし、それぞれ「大切な人に伝えておきたい“自分らしい人生の選択”」と「肺がん理解のための基礎知識と個別化療法」についてご講演いただきました。いずれもタイムリーな話題でしたので、67名が熱心に聴講されました。講演が終わってからの質疑応答も活発に行われ、在宅医療や最新のがん医療に対する県民の皆様の関心の高さを伺い知ることができました。



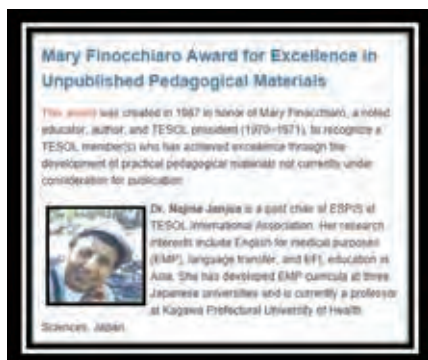
臨床検査学科和田准教授が日本臨床検査医学学会賞を受賞されました



受賞いたしました「クロージングボリューム 曲線の新しい解析法」の研究は本学名誉教授の今井正先生からテーマをいただき、関庚燁先生をはじめ、共著の先生方のご指導の下に完成しました。この新しい方法を利用し、社会的問題であるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の病態解明に貢献していく所存です。今後とも宜しくお願い致します。

学会賞委員会委員長の岩谷良則先生と記念撮影

教養部ジャンジュアナジマ教授が TESOL 国際学会メアリーフィノキアール優秀教材賞を受賞されました



この度、TESOL国際学会のメアリーフィノキアール優秀教材賞を受賞しました。受賞の対象は、英語以外の言語を母国語としている医療従事者の専門英語教育のために作成した教材です。英語学教育の分野において世界最大の学会よりこの賞を授与されることは、私にとって栄誉であると同時に励みになることであり、医療従事者の専門英語教育の重要性も強調しています。教材を作成する動機を与えてくれた学生の皆さんに感謝します。

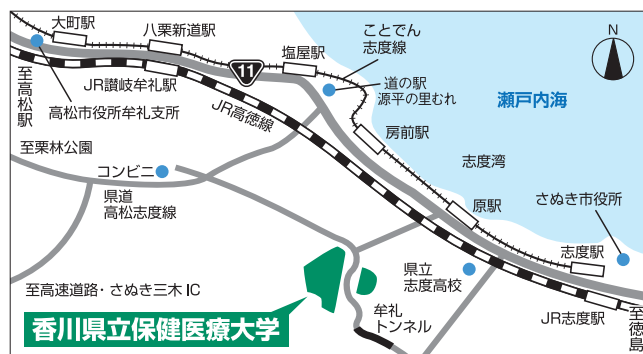
(写真出典: TESOL Connections, Convention Special Issue, May 2016, <http://newsmanager.commpartners.com/tesolc/issues/2016-05-01/4.html>)

●お知らせ

- ◆ 入学式 4月5日(水)
- ◆ オープンキャンパス 7月下旬予定
- ◆ 公開講座 8月下旬・11月中旬予定
- ◆ 橄欖祭(大学祭) 10月下旬予定
- ◆ いきいき健康広場 年2回予定

 **香川県立保健医療大学**
KAGAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原281-1
Tel:087-870-1212 Fax:087-870-1202
E-mail: hokeniryodaigaku@pref.kagawa.lg.jp
<http://www.kagawa-puhs.ac.jp/>



◆学校への経路

- 【西方面から】高松から車で30分
ことでん志度線・原駅下車徒歩10分
高松東ICより車で10分
- 【東方面から】JR高徳線・JR志度駅から車で5分
志度IC(または、さぬき三木IC)より車で10分

タイトルのHANDsは“高い専門的医療技術により、尊い生命を支える人間愛に溢れた温かい手”を意味しています。